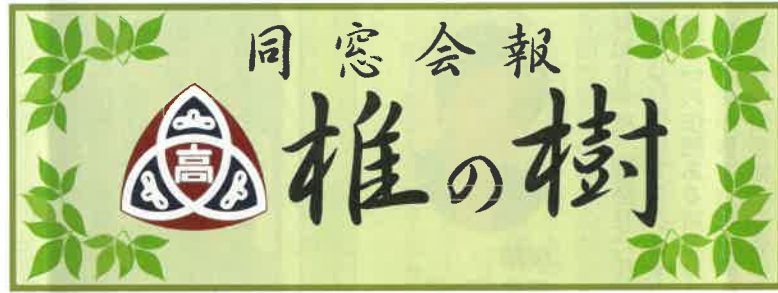


2024.5.1 第38号

発行所 群馬県立高崎女子高等学校
同窓会
〒370-0062 高崎市稲荷町 20
電話(027)362-2585
発行責任者 赤羽洋子
印刷 株式会社 精真社



わたしたちの同窓生

《母校創立125周年》

会員数 35,816名

2024年5月1日 現在

同窓生の皆様におかれましては、日頃より母校のためには多大なるご支援、ご協力を賜りまして心より感謝申し上げます。令和6年度も引き続き、皆様のご協力をいただきながら学校運営に当たらせていただきたいと思います。どうぞ宜しくお願い申し上げます。



非認知能力を育てる 高女SAHが始まります

校長 丸橋 寛
の取り組みをはじめ、高崎女子高校は、令和5年度から高女SAHとして3年間の指定を受け、昨年度1年をかけて準備してまいりました。この取り組みは、変化の激しい社会の要請から始まっているものであります。AI(人工知能)などの情報技術の急速な進化やグローバル化が進展する予測困難な社会において、予測できない変化に、誰かがよくしてくれるのではなく、自ら行動を起こし、主体的に向き合っていくことが求められています。



就任のご挨拶

赤羽洋子

同窓生の皆様におかれましては、ご健勝のこととお慶び申し上げます。令和6年高崎女子高等学校同窓会総会において、前会長の海老原洋子様のご勇退に伴い、同窓会長をお引き受けする事になりました。赤羽洋子でございます。

私は、高崎市民音楽連盟理事長・高崎第九合唱団団長として長年音楽畑一筋の人生を送って参りました。これからは同窓会について深く学び、同窓生にとっても母校にとっても、同窓会が必要不可欠な存在となるよう、新役員一同心を一つにして同窓会を発展させて参る所存でございます。新型コロナウイルスの流行という未曾有の事態の中で、同窓会の活動も制約を受け、計画していた行事や旅行も中止を余儀なくされた4年間で、そんな中にもあっても在校生の活躍は目覚ましく、折りに触れ新聞記事等で紹介され、頼もしさの中に拍手を送っております。今後、在校生のお役に立てるよう、幅広い年代の方々が参加できる「活動の多様化」と

令和6年同窓会総会
令和6年2月4日 ホテルメトロポリタン高崎
95期 坂山真里緒
4年ぶりに新年会との同時開催となったことを受けて、150人以上の会員と、丸橋校長、鈴木PTA会長をはじめとするご来賓の皆様にご臨席を賜り、令和6年同窓会総会が盛大に開かれました。

海老原会長の挨拶の後、丸橋校長、鈴木PTA会長からご祝辞を頂戴しました。その中で丸橋校長からは、令和5年度、高女が指定校となっているSAH(Student Agency High school)の取り組みについてもご報告「活性化」を図って参ります。同窓会は私たちの青春と再会できる絶好の機会でもあります。同窓会活動にご理解とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

ご来賓のご紹介後、海老原会長を議長に議事へと進みました。令和5年事業・会計報告、令和6年事業計画、予算案ともに簡潔明瞭な説明がありました。少子化による入会者の減少や、昨今の物価高騰なども踏まえ、維持費を千円から2千円に上げることも承認されました。役員推薦委員会からの報告もなされ、議事は滞りなく終了しました。その後、役員紹介があり、海老原会長がご退任され、赤羽副会長が新会長に就任されました。赤羽副会長から海老原会長への花束贈呈、海老原会長のご挨拶、赤羽副会長



(右から)退任された海老原前会長、渡邊前副会長、前会計監査の齋藤さん



ご挨拶に、会場からは盛大な拍手が湧き、和やかな雰囲気にも包まれながら、総会は幕を閉じました。今回は同窓会役員が改選されました。次ページに掲載しておりますので、ご参照ください。なお、議案等総会資料については、6月末まで掲載予定ですので、この機会にぜひ、母校ホームページ「卒業生の皆さんへ」内の「同窓会より」コーナーをご覧ください。

能登半島地震被災地の皆様へ
心からお見舞いを申し上げます。

お知らせ
今年度より維持費が2,000円になります。
ご理解のほどよろしくお願いいたします。
こちらからもアクセスできます
高女同窓会
で検索できます。

行事予定表
開催日 時間 行事/場所 問い合わせ先
令和6年7月7日(日) 12:00~14:30 第73回京浜同窓会 学芸会館(神保町) 96期 毛塚明子 090-5443-7045
9月7日(土) 10:00~12:00 旅行申し込み日 椎樹館 95期 鈴木理絵 090-5429-8572
10月27日(日) 親睦旅行「川崎市岡本太郎美術館と横浜中華街グルメの旅」 95期 鈴木理絵 090-5429-8572
令和7年2月2日(日) 11:00~14:30 総会・新年会 ホテルメトロポリタン高崎 95期 坂山真里緒 090-2232-1837
3月1日(土) 同窓会入会式
5月1日(木) 会報39号発行

同窓会入会式
入会の言葉
厳しい冬の寒さも緩み、暖かな風を感じられる季節となりました。本日私たちは、多くの方からの祝福の言葉をいただき、めでたく本校を卒業することができました。卒業と同時に、伝統ある高崎女子高校同窓会に入会できましたことを心より嬉しく思っております。
新型コロナウイルスの猛威により、分散登校から始まった1年生。段々と制限が緩和されていくにつれ、何事もなく登校できる日常に何よりも価値があるということを感じました。加えて、今年度は4年ぶりに多くの方を招いた椎樹祭の開催が可能となり、高女でのかけがえのない思い出を作ると共に、たくさん感動と学びがありました。
母校での3年間で、勉学に励み楽しんだり、仲間と協力する尊厳など言葉で言い表せないほどの沢山のものを得ることになりました。
晴らしい経験がご指導いただいた間、家族、そして援を頂きました。同窓会の方のおかげです。
これからは社会の同窓会員として、また誇りある貢献し、母校の名誉を高めるよう邁進して結び、高女同窓会のご発展とご健康をお祈り申します。
令和6年3月1日
新入会員代表



同窓会役員のご紹介

令和6年の同窓会総会において、左記の方々が再任、新任されました。

Table with 2 columns: Position (e.g., 会長, 副会長) and Name (e.g., 赤羽 洋子, 網島千栄子).

新副会長のご紹介



66期 網島千栄子

令和6年度、副会長に任せられました網島(ご)さま。県下一の伝統ある同窓会において、この様な大役を仰せつかり身の引き締まる思いです。

本年は元旦から能登半島大地震が発生し、多難な幕開けとなりました。又社会は急激なデジタル化の中で大きな変貌を遂げようとしております。時代がどの様に揺れ動こうとも、校歌に詠まれている教えは、先輩より脈々と受け継がれております。伝統を守りつつも、しなやかなところで母校の更なる発展の為に微力ながら力を尽くす所存です。皆様のご指導ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。



81期 桂川 孝子

令和6年総会にて推薦・承認を頂き副会長に就任致しました。諸先輩方が築き上げてこられた同窓会の歴史と伝統を顧み、身の引き締まる思いでおります。微力ながら誠心誠意務めて参ります。

社会の急速な変化に即した同窓会の在り方につきまして、会員の皆様のお声を頂きながら、次代に繋げていけるよう共に考えて参りたいと思っております。

同窓生や母校とのネットワークを更に整え、会員相互の交流や親睦がより深められます様、精一杯努力する所存です。ご支援・ご協力を宜しくお願い申し上げます。

Table with 2 columns: Position (e.g., 顧問, 会計監査) and Name (e.g., 吉村 孝子, 須藤 之章).

Table with 2 columns: Position (e.g., 会長, 副会長) and Name (e.g., 田中 和代, 田村 純子).

グリーティング

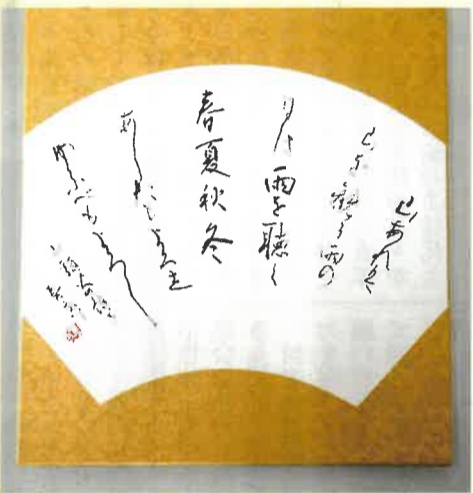


67期 大田部和恵

音楽の都、ウィーンに行つて参りました。高崎第九合唱団第10回ヨーロッパ公演は、高女同窓会会長の赤羽洋子先生を団長に、総勢101人の大移動でした。11月7日に成田を飛び立ちました。「ウィーン楽友協会・黄金の間」で「第九」をはじめ

椎の小径

58期 石原 茂美(春香)



山あれば山を眺る 雨の日は雨を聴く 春夏秋冬 あしたもよろし ゆうべもよろし 種田山頭火



うどん 鮎鮎といふ字を つましらざらむ宵々 にしてわか二人くふ 吉野秀雄

皇居にて 天皇陛下に拝謁



66期 植松美枝子

令和元年秋の叙勲にて、長年保護司に従事したという事で瑞宝双光章を頂きました。更生保護事業は、明治大正昭和と民間篤志家や関係各位の努力により、継続されて来ましたが、昭和24年に、犯罪予防厚生法が施行され、国の制度として発足しました。高女の先輩もたくさん保護司として活躍されて来ました。義母植松ツル子(29期)

も「法務大臣感謝状」を頂き、長い間、従事して来ましたが、その義母から「社会奉仕に協力でき、自分自身も成長させてもらえるよ」と薦められ今日に至りました。良きお仲間にも恵まれ、本当に良い人生勉強をさせてもらえたと、感謝しています。特に青少年や若者を担当することが多く、彼らは加害者となる前に、深刻な家庭環境で育つなど、心に傷を負った存在でした。彼等を指導したりせず、リラクセスさせ、本当の自分を出せる環境を作りたい、安心して安全な居場所のあることの大切さを伝えるべく、面談を重ねて来たつもりです。さて法務省での伝達式が終

保育園での日々



100期 松岡令佳

高女を卒業してから20年以上が過ぎました。振り返ると、勉強は苦手でしたが素敵な友人たちに恵まれ、キラキラと輝く日々だったと思います。都内の大学を卒業し高崎で就職。職場で出会った結婚相手がお寺の跡取り息子で保育園も経営しており、結婚後は保育園も手伝うことになりました。会社員だった私が全く畑違いの道へ進み、子育てをしながら保育士免許を取得しました。人生はどう転ぶかわからないものだと思っております。感じていきます。

5年前、高崎市の待機児童解消政策である新設保育園運営法人の公募に思い切つて手を挙げ、園長として新たに保育園を始めました。開設当初は子どもの人数も少なく、本当に



なないろなまつり 2023.07.23

予定の順番が来たバスから南車寄せ玄関より参観。記念撮影。広い階段を昇って「春秋の間」に。大勢集まった処で、天皇陛下に拝謁することができました。宮殿内は見事で、夢のような一日でした。

親睦旅行

紅葉見頃のハツ場ダムへ

95期 鈴木理絵
令和5年10月29日、4年ぶりに再開した親睦旅行に初めて参加しました。ハツ場水陸両用バスの乗車体験と浅間酒造での買い物、軽井沢ホテルロンギングハウスでのランチ、そして軽井沢現代美術館の見学といったコースでした。バスの中では自己紹介などが交わされ、4年ぶりの再会を喜び、高女同窓会の絆の強さを改めて実感しました。今回の旅行の最大イベントの一つであるハツ場ダムのダム湖を遊覧する水陸両用バス「ハツ場にやがてん号」には、水濡れ防止用にレインコートや上着を着込んで乗り込みました。「スプラッシュ」の掛け声とともに、ダムに突入。思いのほか巻き上がる水しぶ

きに歓声が上がりました。や風はあったものの、晴天に恵まれ、湖面を進みながら黄色や赤に色付いた周りの山々の景色を堪能しました。同乗の女性ガイドさんは「時季によって水位が異なる」ことなど紹介され、季節ごとの楽しみ方があることも知りました。ロンギングハウスでのランチは軽井沢らしく、珍しく新鮮で美味しい野菜を味わうことができました。帰りのバスの中では、多くの先輩方からこれまでの思い出話や体験談をお聞きすることができ、高女の同窓生であることの素晴らしさを改めて感じることができました。随所で温かいお心配りやアドバイスを下さいました。旅行委員会の皆様には大変感謝しております。来年、当番期となりますが、精いっぱい務めさせていただきます。ご指導の程、よろしくお願いたします。

旅行当日は紅葉シーズンの日曜日とあって、移動のバスから見える軽井沢界隈はすごい賑わい。紅葉も見頃でまさに「映え」な喧騒を抜けると、高い木々に囲まれた坂道の先に美術館のゲートが見えてきます。この坂道がなかなかの勾配で、短い距離ながらも先輩後輩の団結が垣間見えました。館内は自然の外光をふんだんに取り入れられていて、それだけで一つの作品のように。都会にある大きな美術館とは一味違い、ゆったりとした時間が流れていて、一つ一つの作品とじっくり向き合えました。常設展「海を渡った画家たち」では、草間彌生さんの作品を実際に見たのが初めてで、やはり実物の前に立つとインパクトが凄かったです。個人的に好きな奈良美智さんの作品を見られたのも嬉しくて、本当は作品を買って帰りたいところでしたが、ポスト

軽井沢現代美術館

94期 鳥居現代

カード数枚を厳選して購入。部屋の一角を小さな美術館風に仕立てて楽しんでいきます。あの空間で数々の作品を浴びながら、パワフルな先輩方と談笑していたら「明日からまた頑張ろう」と思いました。写真や映像よりも、そこに行くことで生まれる体験は貴重ですね。日常に追われていますが、たまには時間を作って見聞を広めていきたい欲が湧いています。

初参加で当番期、仕切りに至らぬ点が多々ございましたが、役員の方々には先輩後輩、旅行会社さん、お世話になりました。ありがとうございました。心より感謝申し上げます。



令和5年10月29日 親睦旅行

令和6年 高女同窓会親睦旅行へのお誘い 川崎市岡本太郎美術館と横浜中華街クルメの旅

○期日/令和6年10月27日(日)
○行程/高崎駅東口(7時出発)→三芳PA(休憩)→川崎市岡本太郎美術館(10時~11時20分)→横浜中華街(昼食~山下公園~元町など/12時40分~14時40分)→ハンマーヘッド(15時~16時)→三芳PA(休憩)→高崎駅東口(19時30分頃)
○費用/16,000円 ○定員/40名(バス1台)
○お申し込み方法
(1)母校椎樹館にて 令和6年9月7日(土)10時~12時(参加費を添えてお申し込みください)
(2)お電話にて 令和6年9月7日(土)15時~20時(鈴木・坂山携帯 下記参照) 電話による受付の場合、9月13日(金)までに振込み(振込用紙には、卒業期を明記の上、手数料をご負担ください)
○振込先 ゆうちょ銀行 00210-0-104782(郵便局から振込の方) 〇二九店 当座 0104782(銀行から振込の方)
○加入者名 高女同窓会親睦旅行会(タカジョウソウカインボクリヨコウカイ)
○お問い合わせ 鈴木 理絵 TEL:090-5429-8572 坂山真里緒 TEL:090-2232-1837



高崎からのご来賓を含めたおよそ80名の皆様にご参加頂きました。今回はアトラクションに代わり、コロナ禍でも工夫しながら「椎樹祭」を開催した現役生の様子を動画で紹介させていただきました。前会長の鈴木令子さん(50期)

京浜同窓会

95期 坂山真里緒
令和5年7月9日、新型コロナウイルスの影響で令和2年から中断されていた京浜同窓会が、東京神田の学士会館にて4年ぶりに開かれました。高崎からのご来賓を含めたおよそ80名の皆様にご参加頂きました。今回はアトラクションに代わり、コロナ禍でも工夫しながら「椎樹祭」を開催した現役生の様子を動画で紹介させていただきました。前会長の鈴木令子さん(50期)

令和6年度 京浜同窓会ご案内

令和6年7月7日(日)
12時~14時30分
学生会館(神保町)
会費 12,000円
連絡先 96期 毛塚明子
TEL:090-5443-7045



2年ごとに開いていた同窓会が、コロナ禍のため6年振りの開催となりました。みなさん様々な表情をしながら会場入り。秋とは思えないガラス越しの強い日差しの中、一瞬に賑やかな輪ができました。私達63期は、昭和36年の入学時が高女創立60周年の記念の年でした。そして卒業から60年経ち78歳になりました。日帰りや一泊での親睦旅行を12回ほど開催しています。その都度出欠の葉書に「近況

63期同窓会

63期 四本宣子
2年ごとに開いていた同窓会が、コロナ禍のため6年振りの開催となりました。みなさん様々な表情をしながら会場入り。秋とは思えないガラス越しの強い日差しの中、一瞬に賑やかな輪ができました。私達63期は、昭和36年の入学時が高女創立60周年の記念の年でした。そして卒業から60年経ち78歳になりました。日帰りや一泊での親睦旅行を12回ほど開催しています。その都度出欠の葉書に「近況

新年会

95期 飯野真子
令和6年2月4日、ホテルメトロポリタン高崎にて、4年ぶりとなる同窓会新年会が開催されました。丸橋校長先生をはじめ、6名の来賓の方を迎え153名の同窓生が集う華やかな会となりました。この日に就任された赤羽新同窓会長によるユーモアに富んだ心に残るご挨拶に始まり、会場は華やかで楽しい雰囲気になりました。

島蘭子さん(57期)による「日本舞踊 春の調べ」演奏と高女同窓会合唱団「コール椎樹」の皆様によるコーラス(計4曲)でした。私たちは、浜島さんの美しく繊細な踊りに感動し、「コール椎樹」の皆様が歌声に優しい雰囲気になりました。

「コール椎樹」の合唱の後には、小林英佐子さん(65期)の指揮、横塚恵子さん(68期)のピアノに合わせて「故郷(ふるさと)」を全員で合唱いたしました。

そして最後の校歌合唱では、全員心が一つになり、新春



令和6年 高崎女子高等学校同窓会 総会・新年会

念願叶った同窓会
77期 星野好美
令和5年5月27日(土)ホテルメトロポリタン高崎にて同窓会を開催しました。本来ならば、全員が還暦を迎えた令和2年に「赤」を身に付けて祝う予定でしたが、新型コロナウイルスの流行で3年遅れての開催となりました。

鳥田先生、岩根先生、原田先生の3人の恩師にご出席頂き、15名の同級生と盛大に再会を楽しむことができました。幹事の挨拶の後に恩師のお話を頂戴し、今も若々しくご



群馬県立高崎女子高等学校 77期 還暦同窓会

欄」を作り返信してもらいました。今回も113通で83通の返信がありました。

これまでの活動経過と今回の返信葉書を冊子にまとめ当日配り、欠席者には郵送しました。その返信葉書から「年輪ビックの出場の練習が重なり」「50年以上指導してきた合唱団の発表があり」「長年続けた保護司の重責からやっとな開放」等々...

年齢を重ね何歳になっても興味をもって活動している姿や、健やかに過したいと努力する63期生が見て取れました。

アトラクションで在学当時の写真が映し出されると一気に高校時代に戻り、ニッケンムで呼びあっていました。コロナ禍は大勢での会食も叶わなかったのが、普通に会える幸せを皆 噛み締めていました。

校歌を合唱し、最後は法領田さんのエールで閉会となりました。参加の皆さんの笑顔に3年間に亘る幹事の苦勞も報われた思いでした。

令和5年度 母校の近況

●文芸部

今年度は第18回群馬県高校生文学賞のみでなく、第38回全国高等学校文芸コンクールにおいても「優秀賞」という大変良い賞を頂くことができ、部員一同非常に喜びを感じております。

この1年間に部員同士で切磋琢磨し、高め合った力を存分に発揮し、各々の個性溢れた多くの作品を文芸部誌『椎樹』として生み出すことができました。また、部員たちの作品を最大限に輝かせるため、今年度は、目次や部員たちの俳句集である「若鶴の会」の掲載方法などの変更を行い、『椎樹』をよりよい部誌へと進化するよう、作品以外の面にも尽力しました。その甲斐もあってか、「優秀賞」という良い賞を頂くことができ、大変嬉しく思っています。

私たちのこの功績は、決して私たち文芸部員のみで成しえたものではありません。私たちの原稿をひとつひ



とつ丁寧に推敲して下さった顧問の先生方や、『椎樹』製本にあたり多大なるご協力をいただいた印刷会社の方々など、『椎樹』制作に携わって下さった全ての方々のおかげで、私たちはこの素晴らしい成績を収めることができました。これからも私たちがサポートして下さる方々への感謝の気持ちを忘れずに、創作活動に取り組んでいきたいと思っております。

(文芸部)

●群馬県高等学校作文コンクール

音楽部に入った私は2年生の夏、令和5年7月29日から鹿児島で開催された全国高等学校総合文化祭に参加した。正しい音楽とは何か、表現することと評価されること、他者の声を聞くということ、自分の声を届けるということ...私の価値観が大きく塗り替えられた出来事だった。

鹿児島から帰ってきてすぐ、宿題の作文に手を付けた。鹿児島の夏、あの舞台での合唱の感動をなるべく嘘のない言葉で綴りたい。大きな紙の上、夢中でペンを走らせた。

「もし私の表現が評価されたら、私の声が届いたからと喜べる人間になりたい。」そんな言葉で締めくくった作文は、群馬県作文コンクールで1位を取った。「私の声は本当に届いたんだ」ただただ涙が溢れた。表彰式では朗読をすることになった。綴った文字が自分の声となっていく。こんなに楽しいことはない。歌うよう



に、踊るように、鹿児島総文の舞台裏で感じた葛藤、心震えた本番、朗読でそのすべてを目の前に再現していった。鹿児島の舞台に戻ったようだった。

総文祭で歌った山村暮鳥の「りんご」の詩は、こう続いている。「いつまでも わすれないかい、いよ大人になつてしまへば もう二どとそんないい夢は見られないんだ」私はこの夏をきと忘れられない。(2年 曾根明依)

顕彰

- 58期 石原茂美(春香)さん
令和5年度
「高崎市文化賞」(書道振興)
- 58期 井上昭子(宗月)さん
令和5年度
「群馬県総合表彰」
(文化部門・群馬県茶道会副会長)
- 58期 岸恵美子さん
令和5年度
「第61回群馬県文化賞」(短歌)
- 60期 岡田京子さん
令和5年度
「瑞宝単光章」(社会教育功勞)

(期別順となっております)

- 63期 小金沢和子さん
令和5年度
「瑞宝単光章」(統計調査功勞)
- 65期 栗原陽子さん
令和5年度
「群馬県総合表彰」
(民生・児童委員(福祉))
- 65期 設楽典子さん
令和5年度
「藍綬褒章」(保護司)
- 70期 中村登美子さん
令和5年度
「瑞宝双光章」(教育功勞)

●令和5年度卒業生 大学入試 合格者一覧 現役+過年度卒()内卒 令和6年3月22日現在

| | | | | | | |
|-----------|-----------|--------------|------------|------------|--------------|---------------|
| 【国立大学】 | 千葉大 4 | 信州大 3(1) | 高崎経大 16 | 【私立大学】 | 法政大 26 | 明治薬大 3 |
| 北見工業大 1 | 東京海洋大 2 | 大阪大 1 | 東京都立大 3(1) | 【私立大学】 | 学習院大 5(1) | 東京薬大 3 |
| 北海道大 2 | お茶の水女子大 3 | 奈良女子大 1 | 横浜市立大 1 | 早稲田大 15 | 芝浦工業大 12(1) | 同志社大 1 |
| 弘前大 1 | 東京外国語大 2 | 広島大 1 | 新潟県立大 2 | 慶応大 5 | 津田塾大 6 | 立命館大 2 |
| 岩手大 3 | 東京学芸大 4 | 徳島大 1 | 長岡造形大 1 | 上智大 14 | 東京女子大 8 | 関西大学 3 |
| 東北大 9(1) | 横浜国立大 2 | 合計 140(4) | 三條市立大 1 | 東京理大 24(2) | 日本女子大 12 | 高崎健康福祉大 39(1) |
| 秋田大 2 | 新潟大 21 | 【公立大学】 | 都留文科大 1 | 国際基督教大 1 | 自治医大 2 | 群馬パース大 6 |
| 茨城大 1 | 富山大 3 | 秋田県立大 1 | 長野大 2 | 明治大 16 | 北里大 14 | その他 396(9) |
| 筑波大 6 | 金沢大 11(1) | 前橋工科大 1 | 岐阜薬科大 1 | 青山学院大 9 | 順天堂大 8 | 合計 672(19) |
| 群馬大 50(1) | 福井大 1 | 群馬健康科学大 4 | 静岡県立大 1 | 立教大 21(2) | 聖マリアンナ医科大学 1 | |
| 埼玉大 2 | 山梨大 1 | 群馬県立女子大 3(1) | 名古屋市立大 1 | 中央大 28(3) | 星薬科大 2 | |

おたより

戦争と私



45期 牛込やす子

私は小学校が国民学校と名称を変えた年、6年を卒業して女学校に入学しました。太平洋戦争が勃発しても、まだ私達はのんびりと、校庭を歩く上級生に会釈をして、女学生になった喜びを感じていました。いよいよ楽しい学生生活が始まるという矢先、戦争が激しさを増し、校庭は芋畑になり、小鳥小屋ではウサギが飼われたりしました。

それが風船爆弾になるとも知らず、寒い空つ風の中、蒔蕪糊で大きな紙を貼り合わせたり、秤で量った粉を小袋に詰めたりもしました。戦後、それが火薬の詰めた物作業だったと知り、勝つと信じた

戦争に負けた悔しさ、校庭で作業に使った机や椅子を山と積み燃やして皆で抱き合い先生も共に泣いた夏の日、翌春3月に勉強をした記憶も薄いま卒業だけはしました。



女学校4年の級友たちと。前列右が牛込さん

想いを馳せる 末広町の高女



65期 小見やよい (みずむらやよい)

私が上毛新聞の「タカタイ」の1ページに「とある日のスケッチ」(絵と文を掲載して8年余り計43回になる。高崎の街から古い歴史的建造物や資料が消失してゆくのを目のあたりにして、それらの絵を描き、記録を残したいと思っ

たからだ。末広町の母校は、シイ、クスノキなどの大樹がうっ蒼と林立し、緑茂る森の中の学び舎だった。移転時の在校生が調べた「木々の歴史」は、私の執筆の糸口にもなった。校庭南門の藤棚(明治34年植樹)は、掃除当番のなつかしい場所。背景に一枚のみ残る旧校舎(現在、高崎市中央公民館)を描き、紙面に載せた。

北側の校門脇のクスノキには、戦争の傷跡が残っていることを知り、当時の様子を知るために図書館で文献や資料を調べた。第二次世界大戦末期に学徒動員と称して女学生たちがかり出された。高女では校内で生徒が「風船爆弾」の製造に従事し、危険で過酷な労働を強いられた。和紙を張り合わせ、直径約10mの風船爆弾を飛ばし、アメリカで爆発させる計画で、陸軍の極秘作戦だった。



みずむらやよい作 藤棚の水彩画



末広町文化会館敷地内に設置された説明板

先輩方を訪ね、風船爆弾やクスノキなどの戦争体験を直接聞き、タカタイに掲載したことが縁となって、NHKの取材を受け、朝の番組「おはよう日本」で全国放映になり大きな話題となった。そして後日、高崎市によって藤棚、クスノキの場所に「名所旧跡案内板」の説明板が設置された。

あしがき

新型コロナウイルスの感染も落ち着き、世の中も以前の生活に戻りつつあります。同窓会においても昨年10月には親睦旅行、今年2月に総会、そして4年ぶりの新年会が開催されました。今回の会報でその様子をご報告することができ嬉しく思います。

- 74期 横山美津子
- ご感想をお待ちしております。
- 編集委員会
- 95期 飯野真子
 - 94期 野居明代
 - 93期 小野里真弓
 - 87期 洪澤矢知子
 - 82期 田中路子
 - 74期 冬木嘉子
 - 70期 三木宏子
 - 65期 宮崎朋子
 - 61期 海老原洋子
 - 66期 網島千栄子
 - 61期 赤羽洋子
 - 66期 網島千栄子
 - 81期 桂川孝子
 - 67期 齋藤信子
 - 72期 林いづみ
 - 75期 羽鳥康子
 - 86期 光高祥子
 - 92期 鯛中由紀恵
 - 94期 田口ルミ子
 - 94期 柴山日佐子
 - 95期 坂山真里緒
 - 88期 栗原公子
 - 103期 金子瑞紀
 - 107期 乘附末季

同窓会へのお問合わせ

同窓会員の皆様のお問合わせにつきましては、(株)サラトに委託しております。住所変更・ご逝去のご連絡、ご意見等は下記へご連絡お願いいたします。

TEL 0800-1000-118
FAX 0120-981-762
メール takajyo@salat.co.jp